

科目名 (科目番号)	地域包括ケアシステム論 (時間割参照)	教員名 福田久子 藤咲美輝	学科等	看護	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー	A314研究室(福田)	
授業概要	地域包括ケアの概念とさまざまなライフサイクルや健康レベルにある人々の健康支援、そして、サービス提供のシステムを学ぶ。さらに、地域で生活する多様な対象者への看護、家族や他の職種との連携について学び、地域包括ケアシステム全体の理解を深め、保健医療や福祉の中での看護の役割について学ぶ。						
目的・目標	目的:地域包括ケアシステムの概念やサービス提供のシステム等について学修し、保健医療や福祉の中での看護の役割や課題について理解する。 目標:①地域包括ケアシステムの概念について理解できる。 ②さまざまなライフサイクル、健康レベルにある人々の地域における健康支援、サービス提供のシステムについて理解できる。 ③地域包括ケアにおける多様な専門職および地域の人々との連携協働し活動する看護の役割について学ぶ。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	地域包括ケアシステムの概要	到達目標:地域包括ケアシステムの概要について理解する。 学習内容:地域包括ケアシステムの背景や仕組みについて学習する。				
	2	地域包括ケアシステムにおける看護職の役割	到達目標:地域包括ケアシステムに求められる看護の役割について考えることができる。 学習内容:療養の場の移行に伴う看護職が果たす役割について学ぶ。				
	3	地域包括ケアと社会資源・制度	到達目標:地域包括ケアシステムにおける社会資源や制度について理解する。 学習内容:対象者に必要な社会資源や制度について学習する。				
	4	地域包括ケアと多職種連携・地域連携	到達目標:地域包括ケアシステムにおける多職種連携と地域連携について理解する。 学習内容:多職種や他機関との連携、地域との連携から看護の役割を学ぶ。				
	5	地域包括ケアの実際(高齢者)①	到達目標:地域包括ケアにより地域で生活する対象者について理解する。 学習内容:地域で生活する対象者の実際について学習する。				
	6	地域包括ケアの実際(障害者)①	到達目標:地域包括ケアにより地域で生活する対象者について理解する。 学習内容:地域で生活する対象者の実際について学習する。				
	7	地域包括ケアの実際(高齢者)②	到達目標:地域包括ケアにより地域で生活する対象者について理解する。 学習内容:対象者の地域での生活についてグループワークの中で学習を深める。				
	8	地域包括ケアの実際(障害者)②	到達目標:地域包括ケアにより地域で生活する対象者について理解する。 学習内容:対象者の地域での生活についてグループワークの中で学習を深める。				
成績評価の方法・基準	対面・オンライン共通:課題レポート(60%)、グループワーク・発表(40%)で評価する。						
教科書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論1		河原加代子 著者代表		医学書院		
参考図書	地域包括ケアシステムの基礎的理解と実践		関永信子 編著		祥雲社		
教員からのメッセージ	さまざまな健康課題を抱える対象者が、住み慣れた地域での健康生活を営むことができるような地域包括ケアシステムにおいて、看護職としてどういった専門能力を発揮できるかを考えながら学んで行きましょう。病院で看護師として勤務し、訪問看護ステーションにて実務研修の経験がある教員がこの授業を担当します。オンライン授業等に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						